愛知民医連と医学部進学を目指す高校生・受験生をむすぶ情報誌

Iris

Vol.40
冬号
2024

トピックス

● Road to Doctor …… P 2
● 医師として大切にしていること …… P 3

11 月に名南病院で行われた模擬面接の様子です

医学生からのメッセージ

浜松医科大学医学部医学科 1 年　松本 愛理

◆医学部志望のきっかけ

私は認知症や脳血管性疾患などになった高齢の患者さんを支える高齢者医療がしたいと思い、医師を志望しました。私の出身地は、大府市のウェルネスバレーと呼ばれる健康や福祉に関連した施設が集まった地域で、幼い頃から健康関連のイベントに参加したり老人ホームなどでボランティアなどをさせて頂く機会が多くありました。そのような経験から高齢者施設や認知症に対する関心が高まっていました。また、中学2年生の時に祖父がくも膜下出血で倒れ、体力は回復したものの認知症になり自分含め家族皆がとても大きな不安を抱え、このように不安を抱える患者さんやそのご家族を支えられるように高齢者や脳に関する治療がしたいと思うようになりました。また、高齢社会に少しでも貢献したいという思いが強くなりました。

◆大学生活について

医学科1年生のカリキュラムは一般教養が主ですが、解剖学という医学の勉強もあります。身に付けるべき知識の量がとにかく多くて大変で、テスト前は1日中図書館で勉強します。ただ、高校までの勉強のように主に自分一人ではなく、友達と集まって情報共有しながら勉強するので楽しいです。また、医学部は部活動が盛んで何かに熱中できたり友達や先輩との交友関係を深められます。大学生は車を持っている人も多いため遊びに出かけるのもより気軽ですし学年を越えた交流が多くて楽しいですよ。他にもアルバイトをしたり研究室に入ったりと、やる気さえあれば自分のやりたいことをなんでもできます。

◆医学部を目指す人にメッセージ

高い志を持って医学部を志望されていることと思います。その気持ちを忘れず、自分を信じて頑張り続けることが大切だと思います。受験前は、周りの雰囲気に影響されて焦りを感じたり、受験倍率を見て不安になったりするかもしれませんが、自分がやってきたことを信じて、支えてくれた周りの人に感謝しながら、それまで自分が積み上げた力を発揮してきてください。医師になりたい、という強い信念やビジョンがあるならば、医学生としての大学生活はとても充実して楽しいものですし、きっと多くの人の役に立つ医師になれると思います。

Road to Doctor

三重大1年　安田 聖乃

医師志望動機

私が医師になりたいと強く思ったのは薬学部2年生の時です。私は元々薬学部に通っており再受験をして医学部に入りました。薬剤師になるための勉強をする中で薬剤師よりもっと深く人の生活や人生に関わる仕事がしたいと考えるようになり医師を目指すことにしました。再受験はとても勇気がいりましたが、いまは医師になってからの将来の夢が多くあり、思い切って挑戦して良かったなと日々感じています。

大学選考理由

三重大学を選んだのは実家に近いことと受験の相性が良かったからです。私は実家が好きなことから実家に近い大学を希望していました。いくつか候補がある中でも、理科と地理が得意で英語と国語が苦手な私には、理科と社会の配点が高く国語の配点が低くて二次試験の英語が容易な三重大学の試験があっていました。実際に、共通テストは正直失敗してしまいましたが、配点と二次試験での挽回によって無事合格することができました。

大学生活で学んでいること

今はまだ一年生なので専門的なことは多くは学んでいませんが、多くの医療従事者のお話を聞いて医師としての視点を身につけたり、自分のキャリアを思い描いたりしています。その中で、勉強ももちろん大事ですが、良い医師になるには人間としての深みが重要なのだと学びました。学校生活やアルバイト、留学などさまざまな経験を学生のうちにして将来に生かしていけたらと思います。特に私は民医連でも活動させて頂いているので、大学では経験できないフィールドワークやお話を聞くことができています。つい先日はウクライナ避難民と触れ合い、理解を深め、日本における避難民の状況など新たな学びを得ることができました。自分の経験はどんなことでも必ずいつか活きると思うので、様々な経験をして深みのある人間になりたいです。

受験生にエール

医学部を目指すというのは簡単なことではなく、時には辛く大変な時もあるかもしれません。しかし大学に入ってから、更には医師になってから得られる経験や学びは非常に充実しており、必ず勉強を頑張って良かったなと思えると思います。心が折れそうになった時は入学後のことを考え、乗り切ってください。同じ医大生としてどこかでお会いできるのを楽しみにしています！

医師として大切にしていること

「ひとりの生命は地球よりも重いことに疑問を挟まない」

北医療生活協同組合　あじま診療所長
反核医師の会・愛知　事務局長
坂本 龍雄

医学の道を志す皆さんと手を携え、平和で暮らしやすい社会を一刻も早く実現したいと願っています。

私は診療所長として地域の小児科医療を懸命に支えています。私が医学部を目指していた頃、四日市喘息や水俣病などの公害が深刻化し、毎日のように新聞を賑わせていました。最高学府の研究者の多くは政府や企業とつるみ、不可解な病因を提唱することで、健康被害の原因である環境汚染から国民や被害者の目をそらすことに汲々としていました。一方で、少数の勇気ある医師や科学者は市民とともに科学的に病因探究を進め、安全・安心な環境づくりや環境衛生学という学問の進歩に大きく貢献しました。医学研究者になり、在野精神を貫き、地道に科学的証拠を積み上げようと決意したことを覚えています。そして、今もこの志を反芻するようにしています。

研究倫理の常識として、研究・調査には必ず利害関係が影響すると考えられるようになりました（conflict of interest）。その意味で、市民を巻き込んだ研究活動（citizen science）の重要性が国際的に見直されています。ぜひチャレンジしてください。

さて、ひとりの生命の重さを日々実感している医師として、核兵器の存在を許すことはできません。核戦争の恐怖は、世界保健機関が提唱している健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health）を議論する以前の重大事態です。平和を求める世界中の草の根の力で核兵器禁止条約（TPNW）が発効し、すでに97カ国が批准・署名しています。わが国は核保有国とともにTPNWに背を向けていますが、TPNWは人類史上初めて核兵器を違法化する国際法です。核兵器の保有や使用はもちろん、核兵器による威嚇を禁止し、核抑止論を否定しています。核兵器のない世界への展望が開けてきたことにぜひ確信を持ってください。

最後に、一刻も早くロシアのウクライナ侵略とイスラエルのガザ攻撃を終わらせなければなりません。国際紛争を解決する手段は決して複雑ではありません。子どもたちを含む罪のない人々の命を奪わない。この一点で世界中の人々が団結することです。ためらいを捨て、「国連憲章と国際人権法を守れ」の声を街中に響かせようではありませんか。

このドクター漫画がおススメ!!

医師／棚橋　千里
総合病院南生協病院
病理医
名市大卒

動物のお医者さん

佐々木 倫子　花とゆめ・白泉社

舞台は北海道にあるH大学の獣医学部。今回は動物のお医者さんを目指す学生さんが主人公の物語を紹介します。

変人の獣医学教授にシベリアンハスキー（のちに“ちょび”という名前になる。）の世話をおしつけられた高校生の公輝くん（通称ハムテル）が主人公。ちょびが体調を崩して動物病院へ行ったときに、その教授がバタバタしながら信用ならない診療をしたのを見て、自分がやったほうが早いと思ったハムテルはH大学獣医学部に入学します。ネズミ嫌いの親友・二階堂君もなぜか一緒に入学し、いつもボヤーとしている大学院生・菱沼さんなど、ユニークな面々に出会います。

教授にまたもや（！）おしつけられたスナネズミ2匹も、「二匹ともオスだよー」と教授は言うのに、なぜか子供が増えています。その二匹を顔立ちから区別しようと、お父さん・お母さんという名前をつけたら、お母さんではなく、お父さんが子供を産んでいたり・・・。

獣医の仕事は、動物に注射したりするので、動物には怖がられて嫌われます。だからハムテルの願いは、一度でいいから動物に“治してくれていありがとう♡”と言ってもらうことなのでした。（私もテレビで、「動物が好きで獣医になったのに動物に嫌われる、というのが獣医あるあるなんです・・・。」と、寂しそうに語っていた先生を見たことがあります。）

実は私、猫が大好きで、子供のころは動物のお医者さんになりたいと思っていました。獣医師になっていたら・・と思いをはせながら読んでいます。動物がかわいらしい絵のタッチも、力の抜けたギャグセンスも抜群！心あたたまり、暗い気持ちには一切なりません。医学部の授業と似ている部分があることも、楽しく読める理由の一つです。私の一番のお勧め漫画です！

さて、これまで長年におよぶ連載をしてきましたが、この号が最終回となりました。みなさん、長い間お付き合いいただきありがとうございました。またどこかで会いましょう！

入学前 医療実習のご案内

期間：2024年3月1日（金）～3月29日（金）の平日希望日
対象：2024年度医学部医学科新入生
場所：愛知民医連加盟病院

★愛知民医連は全学年実習の受け入れOK

医学部といっても低学年は、一般教養が中心…。市中病院も見学や実習受け入れは高学年からの受け入れが一般的ですが、愛知民医連の病院実習は1年生から6年生まで受け入れをしています。

★医学部医学科合格が決まったら現場を体験

見ること・聞くこと・知ることからはじまる医療現場体験。どんな医師をめざしますか？
そのためにどんな学生生活がすごしますか？
あなたの体験があなた自身の答えになる！
受験を終え、入学式を待つ期間などを利用して是非積極的に参加してみてください。

＜体験例＞

13：00	受付・説明・着替え
13：10	院内見学
13：40	医師との診療現場見学
14：00	医師との懇談
14：30	医療体験：聴診、エコー、縫合など
15：00	まとめ・アンケート・着替え

※スケジュールは2～3時間から。
ご希望の内容をお伝えください。

申し込みは
こちらのQRコードから

奨学生になって、一緒に医療のこと社会のこと学びあいませんか?! 愛知民医連奨学金制度のご案内

対象：医学部医学科生（医師をめざす方）

将来、地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療を私たち民医連とともにめざし、担っていく意思のある医学生さんを対象に愛知民医連は奨学金制度を準備しております。

奨学生になると

医学生同士の全国的な交流や学びの場を持つことができます。

充実した学生生活のために、愛知民医連奨学金制度をお勧めします。

ご案内

Irisの感想を送って 図書カードをもらっちゃおう♪

IrisVol.40冬号、いかがでしたでしょうか？
よりよい紙面作成のため、感想をお寄せください。
感想文を送ってくださった方に、図書カードをお送りいたします。

（応募者多数の場合は抽選になります。）締め切り：2024年3月31日

応募は右に記載の
QRコードからすぐにできます。

地域に根ざし患者さんの立場にたった良い医療をめざして
愛知県民主医療機関連合会（愛知民医連）
協立総合病院・総合病院南生協病院・北病院・名南病院・千秋病院

事務局：〒456-0006
名古屋市熱田区沢下町9-3 労働会館 本館3F
TEL：0120-193-666（フリーダイヤル）
052-883-6997（代表）
FAX：052-889-2112
Email：aichiminiren@aichiminiren.jp
URL：http://aichiminiren.jp/

一日医師体験・奨学金のお問い合わせ・お申込みは 医学生担当まで